

中小企業の業況は、依然厳しい状況にあり、利益に悪化懸念。設備投資意欲は横ばい。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成23年1～3月期の実績と平成23年4～6月期見通しについての調査結果をまとめた。（回答率85%）本調査は3ヶ月毎に年4回行う。

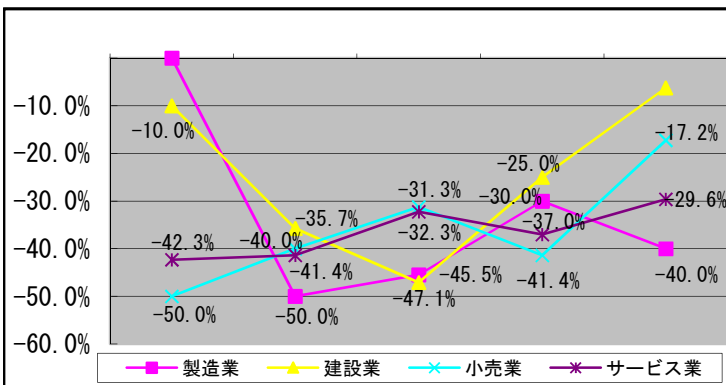
業況DI値について、前年同月比の今期（平成23年1～3月）の状況を集計したところ、全業種の業況判断DIは、マイナス増加で推移している。

全業種のDI値に見る業況判断は製造業：▲45.5%→▲30%、建設業：▲47.1%→▲25%、小売業：▲31.3%→▲41.4%、サービス業：▲32.3%→▲37%となった。製造業・建設業で、回復がみられるが、小売・サービス業が悪化している。仕入単価は上昇傾向。新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の12.9%に、来期設備投資を計画する見通しである企業も同じく12.9%となった。また、今期の経営問題では、各業種とも前回と変わ

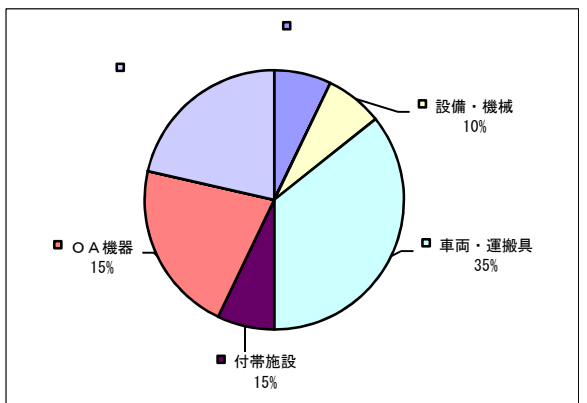
◆業況DI値（今期の状況）

	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	-35%	↗	-39%	↗	-26%	↗	22%	↗	-38%	↗	-1%	↗
製造業	-30%	↗	-40%	↘	-30%	↘	50%	↗	-50%	↘	-10%	↘
建設業	-25%	↗	-25%	↗	-13%	↗	19%	↗	-44%	↗	0%	↗
小売業	-41%	↗	-52%	↘	-31%	→	7%	↗	-31%	↗	0%	↗
サービス業	-37%	↘	-37%	→	-26%	↘	26%	↗	-37%	↘	0%	→

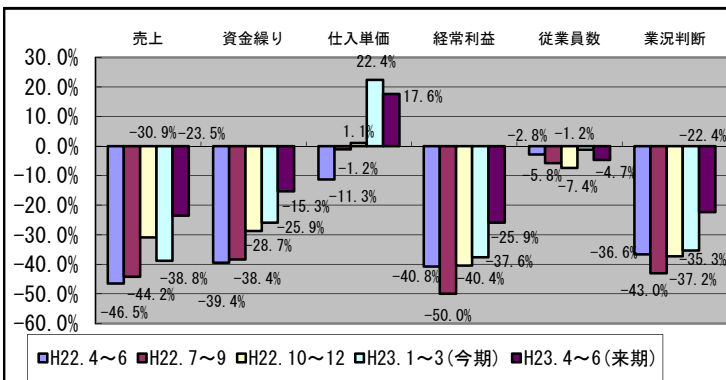
◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）



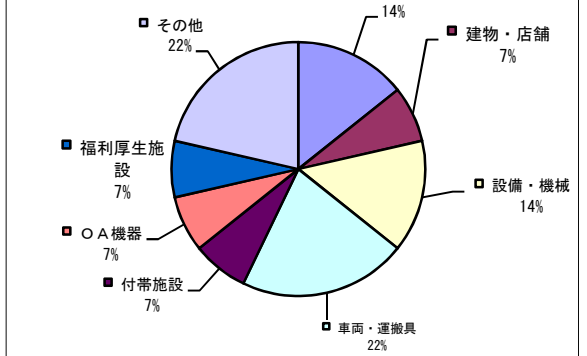
◆新規設備投資（今期実施・来期計画）



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



【来期の実施計画】



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	原材料価格の上昇 23.1%	民間需要の停滞 23.8%	需要の停滞 19.5%	需要の停滞 22.2%
2位	需要の停滞 23.1%	取引条件の悪化 14.3%	消費者ニーズの変化への対応 16.9%	利用者ニーズの変化への対応 19.4%
3位	取引条件の悪化 15.4%	請負単価の低下・上昇難 官公需要の停滞 11.9%	販売単価の低下・上昇難 13.0%	店舗施設の狭隘・老朽化 利用料金の低下・上昇難 9.7%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。